

カタリナ

学報 第33号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2014. 12. 1



キリスト教的ヒューマニズムについて思う

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



建学の精神が掲げる「キリスト教的ヒューマニズム」について語るとき、いわゆる「ヒューマニズム」とどのように対応すべきかを考える。キリスト教的ヒューマニズムは14世紀のダンテに始まり、神の啓示に基づく聖書の真理と信仰によって古典及び初代教会の神学、哲学を自由に活用する神中心主義を主張する。これに対して、神不在のヒューマニズムを提唱する人文主義者は、ほとんど時を同じくして、イタリアに起こった古代ギリシャ・ローマの古典文化の復興を契機として、人間性の回復を称揚する人間中心主義を主張する。いわゆる文芸復興、ルネサンス(再生の意味)運動は、文化的、芸術的、政治的な革新運動となってヨーロッパ全土に波及していった。

この人文主義は、人間の個人的解放と自由を提唱する人間開花への運動となりフランス革命や産業革命の後、極端なヒューマニズム信奉者はキリスト教の啓示と教会に反抗することとなる。そして、科学・技術を中心とする物質主義的合理主義が現代社会を席巻している今日、神中心のキリスト教的ヒューマニズムは、人間中心のヒューマニズムとどのように対話ができるであろうか。

そこで、本学の建学の精神のルーツをたどると、はからずも、13世紀に創立されたドミニコ会が生んだ偉大な神学者にして哲学者であった聖トマス・アクィナスの精神に行き着く。彼は当時のヨーロッパ主要な大学内でこの問題に対する学問的激論が戦われていた真っ直中に存在し、誕生したばかりのドミニコ会において時代の大きな抵抗を受けながらも時のしるしをいち早く察知し、新しい時代の教会改革に向かっていったのである。

1210年当時のパリ大学では、古代ギリシャを代表する哲学者アリストテレスの「自然学に関する書物」はすべて、異文化を代表する異端の書としてその注解を教授することは、私的にも、公的にも厳しく禁じられていた。しかし、トマスはヨーロッパの諸大学に先駆けて、アリストテレス研究の中心となっていたナポリ大学で、本来スコラ哲学者でありながら、アリストテレス哲学研究についての難解な注解をより学問的な立場からこれを解説していた。

トマスは「アリストテレス哲学のすべての部分をラテン世界の人々に理解可能なものたらしめる」と宣言し、その計画を着実に実行したのである。彼の神学は、当然神が万物の始原であり終局であると

し、より根本的な救済史論的立場をとる神中心主義であった。しかし、それと同時に、彼は人間が被造的世界の単なる部分ではなく、神の似姿として創造されたことの存在理由として、人間の最高の活動である認識や意志を通して、それを作り出してゆく主体であることを認めているという点で、ある意味での人間中心主義の立場にも深い理解を示している。したがって、トマスは近代における「主体」思想の先駆的表現を通してキリスト教的ヒューマニズムとヒューマニズムとの融合を試みた神学の第一人者として見ることができる。

このことは当然のことながら、当時の神学中心主義をもって任じていた教会と大学に大きな緊張をもたらした。彼は人間における真理の探究は信仰から出発するという伝統を受け継ぎながら、他方では信仰と人間理性の自律を主張するのである。トマスにおいて特徴的なのは、これら二つの要素が相互に矛盾するものではなく、むしろ相互に相手を要求するものとして受容されるべきであることをのべている点である。それは神の摂理と人間の自由が何ら相互に排除したり、あるいは単なる妥協を必要とすることなく完全に肯定されていることを示しているのである。

のことから、トマスは神中心主義の中に吸収されていた人間中心主義に正当な位置を与えたといえる。彼の偉大さは、神中心主義と人間中心主義とのほとんど不可能ともみえる統一を成就したことにあると思う。

しかし、残念ながら現代社会はキリスト教的ヒューマニズムとヒューマニズムは相変わらず対立的な構図を示してはいるが、戦後の日本において、時の文部大臣田中耕太郎氏はその著書、「教育基本法の理論」の中でも次のように述べていることは注目すべきことである。「キリスト教的世界観はヒューマニズムを排斥するものではなく、それを正しく発達せしめ、いっそう高次の立場から完成することを企画するのである。キリスト教的ヒューマ

ニズムは、キリスト教的価値観の精神に適合するよう、人格の発展に努力する。」(p. 385原文のまま)ものでなければならないと述べている。更に彼はそのカトリック教育的理念として、自然をすべての恩寵の働きの材料と見なし、恩寵は自然を破壊せず完成するものと考えている。それは、トマスがすでに提唱していた自然と恩寵に関する神学の命題を継承するものであり、キリスト教的ヒューマニズムとヒューマニズムとの統合についての可能性を暗示しているといえる。

折しも、21世紀のカトリック教会第266代教皇フランシスコは、現代社会における文化・思想・教育において信仰が果たす役割をその著書、「福音の喜び」の中で次のように説明している。「信頼性のある新しい表現と独創的な新しい護教論の開発を視野に入れた、信仰と理性及び科学との出会いが必要です。そして、大学は学際的かつ統合的な方法で福音化のつとめを考え、発展させるためにとても恵まれた場です。」(p. 120)そのことは、大学において信仰と理性と科学との対話が可能であり、理性の光も信仰の光も神から発せられるものであるから、両者は矛盾するものではないということを強調している。従って、カトリック教育が現代社会において果たす最重要課題として、特に多文化社会の若者への対話を通して、生命の尊厳・宇宙・歴史の根源を新しい仕方で伝えることが必要である。

中世期においてすでにドミニコ会士トマスがキリスト教的ヒューマニズムの中にヒューマニズムの正当な位置を与えるために時代に挑戦したように、現代の教育現場に立つ教育者もキリスト教的ヒューマニズムが、ヒューマニズムの多様性とどこで共有出来るかを教育共同体として考えられると思う。そして、本学が教育理念として掲げる愛と真理、シエナの聖カタリナの神と隣人への愛の精神にこそ、この神中心のキリスト教的ヒューマニズムと人間中心のヒューマニズムの出会いの場となることを希望している。

◆◇ St. Catherine News ◇◆

●四国地区大学総合体育大会（四国インカレ）の壮行・祝福会を開催

5月23日（金）に四国インカレの壮行・祝福会が行われ、約50名の学生・教職員が参加しました。

最初に怪我がないよう、また、努力が実り活躍できるように皆で共に祈りました。司祭（学長）からは激励の講話とともに、聖水による祝福がなされました。また、学生食堂で行われた食事会では各部の代表者が決意表明を行い、全員が拍手で応えお互いの健闘を誓いました。



その後、学内の中庭でバーベキューを行い、異なる部員間での交流も和気あいあいと行われました。

●第65回四国地区大学総合体育大会について

第65回四国地区大学総合体育大会が、香川県を会場として平成26年6月・7月に開催されました。本学からは9種目に130名の学生が参加し、軟式野球（男子）が優勝、剣道（女子）が3位に入賞するなど、優秀な成績をおさめました。



●保育学科リカレントセミナー

8月22日（金）に第15回聖カタリナ大学短期大学部保育学科公開講座「リカレントセミナー」が開催されました。午前と午後にそれぞれ2つの選択講座があり、卒業生を含むたくさんの方が参加され、職業上の新たな知識・技術等を学びました。

この公開講座は、幼稚園・保育所・施設等に勤務されている方を対象に、毎年開催しており、社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援しています。

●2014年度大学祭

2014年度大学祭「HIKARI～まだ見ぬ未来へ～」が10月24日（金）から26日（日）にかけて開催されました。

1日目の最初に学内ミサがあり、その後、愛媛県出身で作家・作詞家として幅広く活動されている高橋久美子氏の講演が行われました。

また、聖ドミニコ宣教修道女会総長シスター・アスンション・ゴンザレス氏がはるばるローマから学内ミサに列席され、学生と教職員へメッセージが述べられました。

2・3日目には、ステージショー、ライブ(BUZZ THE BEARS)、保育学科レクリエーション(カタリナスペースランド)、パイプオルガン演奏会も開催され、また学内外から多数の模擬店の出店があり、様々な物品や食品等が販売され、地域の方や卒業生などたくさんの方にご来場いただきました。



なお、今年度は日本人間関係学会の第22回全国大会も学内で同時開催されました。

多数のご来場、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

●まつやまシニアカレッジ

聖カタリナ大学と松山市社会福祉協議会の共同企画プロジェクトとして10回目の「まつやまシニアカレッジ」を開講しました。

この講座は、大学での講義や学生生活に興味のある高齢者の方々を対象に、健康福祉社会づくりを目的として開催しており、より豊かな知識の習得のため、幅広いカリキュラムで、本学教員が計8回の講義を行い、11月14日（金）の最終回に修了式を迎えました。

◆◇ 平成 26 年度前期行事 (H26.4.1 ~ H26.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
4	1	火	大	教授会、選考教授会
			短	教授会、保育学科会議
2	水		新任教職員研修、学生生活委員会、国際交流委員会	
			大	人間社会学科会議
3	木			入学式
4	金			オリエンテーション(～4/7)
7	月			就職委員会
8	火	大		教職課程委員会
9	水	大		社会福祉学科会議
10	木			会計監査(～4/11)
11	金			ボランティアセンター運営委員会
12	土	短		カタリナキャンプ
14	月			人間文化研究所紀要編集委員会
15	火			人間文化研究所所員会、サルーテ運営委員会
16	水			教職員健康診断、キリスト教研究所所員会
18	金	大		カタリナキャンプ(～4/19)
21	月	短		保育学科会議
22	火			図書館委員会
23	水	大		社会福祉実習委員会
25	金		入試・募集委員会	
			大	健康スポーツ学科会議、寄附講座①「風早の塾」
26	土			理事会
29	火			学園創立記念日
5	2	金	大	人間社会学科会議
			短	教授会
7	水		会計監査(～5/9)	
			短	大学評議委員会
8	木			S D委員会
9	金	大	教授会	
			短	保育学科会議
11	日			ばけっとまつり
13	火	大		学生生活委員会
14	水			母をたたえる日、パイプオルガン演奏会実行委員会
16	金			国際交流委員会、学生生活委員会
20	火		サルーテ運営委員会	
			大	大学コンソーシアムえひめインターナショナル部会
23	金		大学説明会(本学)	
			大	人間社会学科会議、寄附講座②「風早の塾」
24	土			理事会、評議員会
26	月			大学説明会(新居浜)、パイプオルガン演奏会実行委員会

月	日	曜	区	行 事
5	26	月	短	幼稚園教育実習[保2](～6/6)
			大	財務委員会
27	火		大	就職委員会大学部会
				大学説明会(中村)
28	水		大	人事委員会
				大学説明会(八幡浜)
29	木		大	大学説明会(宇和島)、合同F D委員会、クラブ活動協議会
			大	寄附講座③「風早の塾」、健康スポーツ学科会議
6	2	月	大	教育実習[社4](～6/13)
			短	大学評議委員会
3	火	短		学生相談室運営会議
4	水			社会福祉学科会議、社会福祉実習委員会
6	金	大		介護実習報告会
7	土	大		後援会役員会
9	月			人間文化研究所紀要編集委員会
11	水		国際交流委員会	
			短	教授会
12	木			大学訪問(北条高等学校2年生)
13	金		まつやまシニアカレッジ	
			大	教授会、人間社会学科会議
			短	保育学科会議
14	土			寄附講座④「風早の塾」
16	月	大		精神保健福祉援助実習[社4](～7/1)
17	火		大学訪問(聖カタリナ女子高等学校1年生)	
			大	健康スポーツ学科会議
18	水	大		インターナショナル部会
20	金		学生生活委員会	
			大	人事委員会
21	土			オープンキャンパス①
23	月			パイプオルガン演奏会実行委員会
24	火	大		入試・募集委員会
25	水			S D委員会、四国インカレ(～6/29)
27	金		教学マネジメント会議、まつやまシニアカレッジ	
			大	寄附講座⑤「風早の塾」
28	土			評議員会・理事会
30	月			ボランティアウィーク(～7/5)
7	1	火	国際交流委員会、四国インカレ(～7/6)	
			大	社会福祉実習連絡協議会、就職委員会大学部会
			短	入試・募集委員会部会
2	水	短		保育学科会議

月	日	曜	区	行 事
7	3	木		ボランティアウィーク講演会
	4	金	短	人間文化研究所フォーラム
		教授会		
	5	土		ボランティアウィーク一般公開日
	9	水		人間文化研究所紀要編集委員会
	10	木		大学訪問(台湾・静修女子高級中学～7/11)
	11	金	大 短	まつやまシニアカレッジ
				教授会、学生生活委員会
				保育学科会議
	12	土		中長期経営推進担当者会議、学内福祉就職相談会
	14	月	短	S D委員会、パイプオルガン演奏会実行委員会
				保育実習Ⅱ(～7/26)・Ⅲ[保2](～7/28)
	15	火		サークル運営委員会
	16	水	大	社会福祉実習委員会
	18	金	大	留学生との懇談会
				選考教授会、健康スポーツ学科会議、寄附講座⑥「風早の塾」
	19	土		オープンキャンパス②
	22	火		財務委員会、図書館委員会
	25	金	大	まつやまシニアカレッジ、将来計画委員会
				教授会、寄附講座⑦「風早の塾」
	26	土		理事会
	30	水	大	S D委員会、人間文化紀要編集会議
				社会福祉学科会議
	31	木		国際交流委員会
8	1	金	大 短	夏季休業(～9/20)、人間文化研究所フォーラム
				人事委員会
				教授会
	5	火	大	ボランティアセンター運営委員会、S D委員会、教学マネジメント会議
				教授会、選考教授会、教職課程委員会
	6	水		合同F D委員会、財務委員会

月	日	曜	区	行 事
8	6	水	大	精神保健福祉援助実習[社4](～9/2)、社会福祉援助技術現場実習[社5]、介4編4](～9/5)
			短	保育学科会議
	7	木	大	教務委員会大学部会、人間社会学科会議
	8	金		聖ドミニコの日
	9	土		人事委員会
	11	月	大	介護福祉実習[介2](～9/6)
	14	木	大	介護福祉実習[介3](～9/10)
	22	金	短	保育学科公開講座リカレントセミナー
	23	土	大	介護技術講習会(～8/24)
	24	日		生徒・保護者対象「大学説明会」
	26	火	大	選考教授会
			短	入試・募集委員会部会
	27	水		奨学制度運営委員会
	29	金		事務職員研修会
	30	土	大	介護技術講習会(～8/31)
9	1	月		事務職員研修会
	17	水	大	奨学制度運営委員会、学内F D研修会
				健康スポーツ学科会議
	19	金	大	後学期履修ガイダンス、就職ガイダンス
				人間社会学科会議
	21	日		オープンキャンパス④
	22	月	大	大学評価委員会
	24	水	大	大学評価委員会
	25	木		学生生活委員会
	26	金	大	まつやまシニアカレッジ、大学訪問(上浮穴高等学校1年生)
				寄附講座⑧「風早の塾」
				保育学科会議
	27	土		理事会
	29	月		S D委員会

◆◇人 事 ◇◆

《平成26年7月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

教授

横山 知玄

《平成26年8月1日付け》

【昇任】

人間健康福祉学部

教授

丸山 裕司

《平成26年8月31日付け》

【退職】

図書課

事務職員

門多 和広

《平成26年9月1日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部

講師

大黒屋 貴穂

総務課

事務職員

武田 久美子

総務課

事務職員

中村 太亮

◆◇ 平成 26 年度教授会議題（前期） ◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H26. 4. 1 第1回

- 平成27年度聖カタリナ大学入試概要について

- 復学について

- 除籍について

- 科目等履修生の受入れについて

- 聴講生の受入れについて

H26. 5. 9 第2回

- 退学について

- 休学について

- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部将来計画委員会規程の制定について

- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部教学マネジメント会議規程の制定について

H26. 6. 13 第3回

- 退学について

H26. 7. 11 第4回

- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 I R 推進委員会規程の制定について

- 科目等履修生の受入れについて

H26. 8. 5 第5回

- 退学について

- 復学について

- 前学期末卒業者について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H26. 4. 1 第1回

- 平成27年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について

- 退学について

- 除籍について

H26. 5. 2 第2回

- 退学について

- 将来計画委員会規程の制定について

- 教学マネジメント会議規程の制定について

H26. 6. 11 第3回

- ※報告・連絡事項のみ

H26. 7. 4 第4回

- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部 I R 推進委員会規程の制定について

H26. 8. 1 第5回

- 学則の一部改正について

- 前学期末卒業者について

◆◇ 平成 26 年度 クラブ等 活動状況 ◇◆

H26.10.26 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
剣道部	4/20	第69回 国民体育大会剣道競技候補選手選考会	愛媛県武道館	19	男子：3回戦進出 女子：3回戦進出
	4/29	第6回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 会愛媛県予選大会	愛媛県武道館	12	女子：ベスト8
	5/18	第61回 中四国学生剣道選手権大会 第46回 中四国女子学生剣道選手権大会	愛媛県武道館	21	男子：4回戦進出 女子：ベスト16
	5/24・25	第59回 西日本学生剣道大会 第29回 西日本女子学生剣道大会	福岡市民体育館	21	男子：出場 女子：出場
	6/15	第29回 香川近県学生剣道大会	香川大学	21	男子：優勝 女子：3位
	6/28・29	第65回 四国地区大学総合体育大会	香川大学	17	男子：出場 女子：3位
	8/24	第17回 愛媛県レディース剣道大会	西条市東予体育館	12	女子：優勝、準優勝、3位
	8/24	第62回 全日本剣道選手権愛媛県大会	松山市立垣生小学校	8	男子：3回戦進出
	8/31	第61回 中四国学生剣道優勝大会 第41回 中四国女子学生剣道優勝大会	岡山総合文化体育館	15	男子：5位（全日本学生剣道優勝大会 出場権獲得）、優秀選手賞（吉野瑠平） 女子：3位（全日本女子学生剣道優勝 大会出場権獲得）、優秀選手賞（菅優樹）
硬式テニス部	5/17~21	平成26年度 春季中国四国学生テニス選手権 大会予選	広島県内	3	男子：シングルス（2回戦進出）、ダブルス（2回戦進出） 女子：シングルス（2回戦進出）、ダブルス（ブロック決勝進出）
	6/25~27	第65回 四国地区大学総合体育大会	香川県総合運動公園 高松市亀水運動センター	13	男子：出場 女子：4位
	8/25~27 9/1~3	平成26年度 全日本大学対抗テニス王座決定 試合中国四国地区大会 男子4部・女子5部	広島県内	13	男子：出場 女子：出場
女子バレーボール部	7/5・6	第65回 四国地区大学総合体育大会	普通寺市民体育館	7	出場
聖カタリナ大学 サッカー部	7/5・6	第65回 四国地区大学総合体育大会	香川県運動公園 サッカーグラウンド	20	出場
	10/25	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
卓球部	6/27~29	第65回 四国地区大学総合体育大会	丸亀市民体育館	9	男子：シングルス（2回戦進出）、ダブルス（ベスト16）、団体（8位） 女子：シングルス（出場）
	6/28・29	四国学生卓球新人戦	丸亀市民体育館	8	男子：シングルス（ベスト16）、ダブルス（2回戦進出） 女子：シングルス（出場）

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
ダンス部	7/21	公演(駅前ゆかた祭り)	J R伊予北条駅前	14	
	10/26	大学祭 ステージショー(ダンス)	聖カタリナ大学		
男子 バスケットボール部	6/28・29	第65回 四国地区大学総合体育大会	高松市西部運動センター 牟礼総合体育館	11	2回戦進出
男子ハンドボール部	6/28・29	第65回 四国地区大学総合体育大会	香川総合体育館	12	出場
	9/3~7	第53回 中四国学生ハンドボール秋季リーグ 戦	桃太郎アリーナ	14	男子4部:3位
	10/25・26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
なぎなた部	6/29	岡山県国体予選会	内山下小学校	1	個人:4位(石井杏奈 補欠選出)
	7/13	第49回 愛媛県なぎなた選手権大会	愛媛県武道館	2	個人:出場 演技:出場
	8/9・10	第53回 全日本学生なぎなた選手権大会	山口県立下関武道館	2	個人:出場 演技:出場
軟式野球部	春季	平成26年度 四国地区大学軟式野球連盟春季 リーグ戦	香川県内		2勝2敗
	7/4~6	第65回 四国地区大学総合体育大会	津田球場 長尾球場	28	優勝
	秋季	平成26年度 四国地区大学軟式野球連盟秋季 リーグ戦	香川県内		1勝3敗
バドミントン部	7/1~5	第65回 四国地区大学総合体育大会	香川県飯山総合運動公園体 育館	13	男子:シングルス(出場)、ダブルス(2 回戦進出)、団体(出場) 女子:シングルス(3回戦進出)、ダブ ルス(2回戦進出)、団体(出場)

体育局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
新体操同好会	4/19~20	第56回 関西学生新体操選手権大会	花園大学	1	個人総合22位(藤原彰子 西日本学 生新体操大会出場権獲得)
	5/19~21	第64回 西日本学生新体操選手権大会	向日市民体育館	1	個人総合18位(藤原彰子 全日本学 生新体操選手権大会出場権獲得)
	8/25~29	第66回 全日本学生新体操選手権大会	栃木県南体育館	1	個人総合40位
バスケットボール 同好会	10/25・26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		

文化局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
華道部	10/25・26	大学祭 展示	聖カタリナ大学		
琴部	10/26	大学祭 演奏	聖カタリナ大学		
茶道部	10/26	大学祭 お茶会	聖カタリナ大学		
宗教研究部	5/14	学内行事(母をたたえる日)	聖カタリナ大学		
	5/23	野外ミサ、インカレ壮行・祝福会、バーベ キュー	聖カタリナ大学		
	10/24~26	大学祭 ミサ・出店	聖カタリナ大学		
トトロ	5/1	講話「地域における障害者の自立、障害者との 共生」	北条高校	1	講師:浅井翔一
	10/25・26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
V Y S	10/25	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
フォークソング部	10/25・26	大学祭 ライブ	聖カタリナ大学		
漫画研究部	10/25・26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
M a y C l u b	10/25・26	大学祭 バザー・ステージショー(手話コー ラス)	聖カタリナ大学		

文化局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
はっぴーデザイン 研究会	6/21	T F T中四国支部総会	香川大学	10	活動報告、グループワーク
	10/25・26	大学祭 バザー	聖カタリナ大学		
M a d C l o w n s	4/27	久万高原町祭り	久万高原町商店街	1	ジャグリングショー、バルーンアート
	5/4	GWイベント	愛媛県歴史文化博物館	1	ジャグリングショー、バルーンアート
	6/29	福祉館恵海夕涼み会	福祉館恵海	1	ジャグリングショー
	7/20	難波公民館夕涼み会	難波公民館	1	バルーンアート
	10/26	大学祭 ステージショー(ジャグリング)	聖カタリナ大学		

その他団体

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加 人數	備 考
学生ボランティア センター	6/30~7/5	ボランティアウィーク	聖カタリナ大学		
	10/25・26	大学祭 展示	聖カタリナ大学		

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部教授 山本 克司



私の研究は、憲法学の人権理論研究を福祉分野に応用することです。憲法学の人権に関する理論的研究は、社会の中で具体的に活用できてこそ、研究の意義があると考えます。この視点から、人権理論の研究を社会福祉の領域に定めて、研究をしています。社会福祉は、支援を必要とする人の人権保障を制度の目的としています。しかし、法学的な視点から見れば、人権保障の中核概念は何か、社会中での人権調整基準はどのようにするか、行政訴訟との関係で生存権の法的性格とは何かなど、多くの研究課題があります。

今から12年前、私は、法学担当教員として、本学に採用されました。当時の授業では、学生のニーズを十分考慮することなく、専門用語の羅列と机上の空論の説明に終始していました。そんなある日、学生から「先生、もっと私たち将来福祉に携わる学生が現場で理解できるような法学の授業をしてください」と言われました。私は、その時初めて、自分の大学での立ち位置を意識しました。しかし、私には福祉のフィールドがないので、学生のニーズが十分に理解できません。そこで、通信教育の社会福祉士養成課程に入学し、夏休みに福祉施設実習を経て、社会福祉士を取得しました。また、それだけでは不十分なので、できる限り、福祉の現場に足を向けるこ

とにしました。これが、私の研究の原点になっています。

私は、今までの研究で、人権中核概念「個人の尊厳」の言語的理義や正当性の根拠など、法解釈学の基礎的な研究をしてきました。これからは、福祉・医療従事者のリスクマネジメントの関係から訴訟に関する実践的な人権的・法的問題を研究したいと考えています。具体的には、高齢者虐待にかかる人権的・法的問題点について日本の判例や諸外国判例研究を中心に進めてゆきたいと考えています。現在、平成26年度から3年間、科研費で福祉施設における「高齢者的人権保障と虐待防止教育システムの研究」をしています。

福祉といえば、私たちは、すぐにボランティアだと、相談援助あるいは介護を思い浮かべます。しかし、これらの福祉の領域は、すべて利用者や支援を必要とする人たちの基本的人権を護るツールにすぎません。残念ながら福祉に携わる多くの人々は、「利用者のどの人権（人権の種類と内容の精査）がどのような状態にあり、人権の性格（人権の法的性格）からしてどのように支援をするのか、擁護が不十分な人権に対してはどのような援助方法（人権の性質に応じた援助方法の検討）や法制度を利用するのか」という人権の理論的な検討を軽視しがちです。また、支援に伴い発生するリスクに対するマネジメント意識が必ずしも十分とはいえません。

これでは、支援者の人権に対する理解度と温度差により均一的な質の高い福祉サービスの実施は困難です。また、福祉従事者自身の自己実現が阻害され、バーンアウトを招きかねません。私は、このような視点から、福祉分野における理論的な人権研究と法的問題点の研究を継続的に行いたいと考えています。

聖カタリナ大学・短期大学部学報

〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

T E L. 089-993-0702(代)

<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行

広報委員会

kouhou@catherine.ac.jp